

アンダーライティング権限有し迅速対応

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド

代表取締役 八城 一浩氏

クローズアップ



八城一浩代表

最上位資格2名が取得

顧客対応の意識が向上

AI G損保が2018年から実施している同社独自の募集人資格制度である「AR C(AIGリスクコンサルティング)資格制度」。主にプロ代理店の個々の募集人を対象にしたもので、中小企業開拓のためのリスクコンサルティング力向上のためのプログラムだ。資格は3段階で構成され、シネラルリスクマネージャー(GRM)、シニアリスクマネージャー(SRM)と認定の難易度が高くなり、最高峰の資格がエグゼクティブリスクマネージャー(ERM)となっている。資格取得に取り組んだ株式会社ヤシロエージェンシーリミテッドの八城一浩代表に聞いた。

組織体制と取扱
い保険種目などについて
八城 私を含めて総勢
6名で、営業が2名、事務(営業事務)が4名。
取扱いは保険会社は損保が3社となっている。保険種目のポートフォリオでは賠償と傷害保険が全体の7割を占めており、自動車保険が2割、火災保険が1割となっている。

法人保険と個人保険の収
益割合は7対3で、法人
ではビルメンテナンス業
のお客様が多いのが当社
の特徴だ。
八城 AR Cに取組む
ことになった経緯について
八城 AR Cの資格制
度があり上がった旨の情
報を保険会社からもら
い、私と営業社員1名の
2名で初年度(2018

年)から資格取得に向け
て制度にエントリーし
た。2名とも3年後の2
020年に最上位資格の
ERMを認定取得するこ
とができた。
八城 本業があるなか
での3年間の受講という
ことだと思えますが、
八城 最初の資格であ
るGRMの取得に際して

は、初めての取組みとい
うこともあって負担感は大
きかった。その後、SRM、ERMと進むにつ
れて当然、難易度が高くな
り、ERMの認定取得
のためには相当数のレポ
ートも作成する必要があ
った。これらのレポート
のなかには、ERMで求
められるスキルを実際に
お客様の現場で実践し、
その実績をレポートに盛
り込まなければならぬ
ものもあったため、単
なる座学にはない難しさが
あった。

募集時の内容を
レポートに盛り込むのは
まさに実践的な資格。
八城 例えば、取扱い
の少ない、または不得手
な保険種目の取扱いがレ
ポートの課題になった場
合でも取り組まなければ
ならないため、大変な面
はあったが、むしろこの
機会に不得手という意
識を捨てて取り組む良
い機会になった。
八城 具体的に難解な
レポート課題はありまし
たか。
八城 当社では火災保
険の比率が最も小さく、
全体の1割しかない。そ
のなかで、工場や大型物
件の建物調査や評価が課
題になったときは苦労し
た。この分野では数少な
い限られたお客様のもと
を伺う必要があったから
だ。

AR Cの取組み
を通じて営業活動で変化
したことはありませんか。
八城 もともと、外部
機関が認証するリスクマ
ネジメント資格や事業継
続強化計画認定を取得
している。AR Cの取組み
を通じては、
八城 アンダーライテ
ィングの権限委譲を得る
ことで、見積もりから引
き受けまでのプロセスの
多くを自分たちの判断で
行えるようになるため、
供、実践できるようにす
るための講習を実施す
る。

制度開始5年目となる
現在の資格取得者数はGRMが約2300人、SRMが約5000人、ERMが約2400人。このうちSRMとERMの資格取得者には、保険契約の一定の引き受け条件の判断などが可能となるアンダーライティング権限を委譲する特典が設けられている。
八城 企業財産保険ではリスクカーベイの評価認定資格が募集人に与えられ、建物のリスク調査を行うなどの権限を付与するもの。その調査結果をもとに同社のアンダーライターが割引率を決定するといった流れになる。A&Hラインでは、リスク診断割引(最大30%まで)の承認の権限が付与される。見積もりから引き受けまでのプロセスの多くを権限委譲の募集人が担えるようになるため、迅速で効率的な顧客対応が可能になるほか、権限委譲により一層探

するなど他との差別化を図る取組みを進めてきたため、AR Cの資格取得の前後で自分たちの行動が大きく変わったということはない。AR Cについては資格取得による行動の変化というよりも、学びを通じてリスクマネジメントという観点でお客様と接することへの意識が一層高まったという変化は私のなかで生じた。当社のもう一名の社員も同様の感じを持ったそうだ。
八城 アンダーライティングの権限委譲の有効性については、
八城 アンダーライティングの権限委譲を得ることで、見積もりから引き受けまでのプロセスの多くを自分たちの判断で行えるようになるため、
供、実践できるようにする
ための講習を実施する。

AI G損保の独自制度「AR C」

AI G損保独自の資格制度「AR C」では、最高峰のERM取得に最短でも3年を要する。1年目の研修を修了するとGRMに、2年目修了時はSRM、そして3年目修了時はERMの資格をそれぞれ取得できる。1年目から3年目までの各カリキュラムは、eラーニングを通じてリスクマネジメントに関する実務の講座と、ツールを使った実践課題を提出するものがある。

講座のパートでは、リスクマネジメントの知識習得のみに終始せず、セーブルス実践面に役立つようカリキュラムが組まれており、従来の保険商品ありきのセールス手法から脱却し、リスクマネジメントノウハウを使うセールスが得意になることを主たる目的としている。

サービス実践のパートでは、同社のサービスである「建物評価サービス」「労働安全講習」「交通安全講習」等を顧客に提案

品は、企業財産保険と企業財産包括保険、A&Hラインの業務災害総合保険と総合事業者保険で、権限の有効期間はいずれも3年間で、以降は更新制となる。

この資格制度を運営する同社リスクコンサルティングユニットの鈴木慧は、制度の意義について「多くの中小企業経営者がリスクマネジメントの専門家のアドバイスが必要としているという実情をふまえて、AR C資格制度を立ち上げた。資格を取得した募集人には、中小企業のリスクマネージャーとしてお客様と伴走するような存在になってもらいたいという思いでこの資格制度を運営している」と話している。

この資格制度を運営する同社リスクコンサルティングユニットの鈴木慧は、制度の意義について「多くの中小企業経営者がリスクマネジメントの専門家のアドバイスが必要としているという実情をふまえて、AR C資格制度を立ち上げた。資格を取得した募集人には、中小企業のリスクマネージャーとしてお客様と伴走するような存在になってもらいたいという思いでこの資格制度を運営している」と話している。

この資格制度を運営する同社リスクコンサルティングユニットの鈴木慧は、制度の意義について「多くの中小企業経営者がリスクマネジメントの専門家のアドバイスが必要としているという実情をふまえて、AR C資格制度を立ち上げた。資格を取得した募集人には、中小企業のリスクマネージャーとしてお客様と伴走するような存在になってもらいたいという思いでこの資格制度を運営している」と話している。

監査人だからこそ知っている、みんなが知らない大事なことが満載!

保険代理店における
個人情報取扱・管理
Q&A

日本創倫株式会社(山本秀樹/風間利也/田畑尊靖)編著

現職の監査人が完全編集、監査で指摘の多い項目が一目瞭然!! 巻末に帳票サンプル付

代理店の「監査」を請け負う専門会社である日本創倫株式会社が、これまで500社近い保険代理店の体制整備をサポートしてきたなかで、圧倒的に指摘する数も多く、また改善が進まない分野が「個人情報管理」に関する体制整備です。こうした監査現場の現状を憂慮して、この度、保険代理店の経営者の皆さまだけでなく、保険の仕事に携わる多くの方が個人情報の取扱いについて学ぶことのできる学習用テキストの冊子を発刊することとなりました。

本書では、一般的な法律の遵守事項や禁止行為、言葉の定義を学ぶことだけに留まらず、実際の保険募集や営業事務の現場で日々起こっている疑問や困り事にまで範囲を広げました。また、テキストは現場でのヒアリングをイメージして、一問一答形式で作成し、疑問がその場で解決するような構成にしています。

保険に携わっているなるべく多くの人に読んでいただくことで、保険募集の現場が適正に個人情報を取扱い、それが保険加入者に安心感を与える体制整備と保険代理店の皆さまの発展の一助となることを祈念します。

A4判/112ページ
定価 1,595円
(消費税込、送料別)

2020年9月発行

(年 月 日) ● F A X 注文書 ● ※送料別

送信先 (株)新日本保険新聞社 FAX 06-6225-0551
https://www.shinnihon-ins.co.jp/

保険代理店における 個人情報取扱・管理Q&A 9167 冊

●会社名
●部支店名
●課支社名
●代理店名
(〒)
●送付先
(自宅・会社)
●担当者名 ●TEL